

会 議 記 録 (1)

会議名称	北本市北本駅東口駅前広場屋根整備事業基本計画検討委員会（第2回）
開会及び閉会日時	令和4年8月23日（火）10時00分から
開催場所	北本市役所 会議室3-A、3-B
議長氏名	岡田 公彦
出席委員(者)氏名	岡田公彦 坂口真一 中田隆 加藤浩 鯨井憲一 秋葉清 横田清 大島博明 福島洋輔 浦直樹 清水孝良 斉藤彰
欠席委員(者)氏名	加藤浩 佐藤慎也
説明者の職氏名	菅主幹
事務局職員職氏名	小林都市整備部長 嵐建設課長 菅 佐藤
会議次第	○北本市北本駅東口駅前広場屋根整備事業基本計画検討委員会（第2回） 1 開 会 2 議 題(1)整備計画について 3 連絡事項 4 閉 会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・（資料1）名簿 ・（資料2）北本市附属機関等の会議の公開に関する規則 ・（資料3）本駅東口広場シェルター配置比較表 ・（資料4）デザイン案について

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>○傍聴人の有無：1名あり（委員長より傍聴人の入室許可発言）</p> <p>○出席委員の確認：14人中12人出席、会議公開規則、事務局から説明</p> <p>○検討委員会開会（1）整備計画について：説明実施</p> <p>・資料3 シェルター配置比較表について</p> <p>・資料4 屋根デザイン案について</p>
座長	<p>・ただいまの説明について、ご質問、ご意見等をお願いします。</p>
大島委員	<p>・補足ですが、この広場屋根の設計上の前提条件があります。JR 駅舎に法的に影響しないこと、JR 駅舎のメンテナンスに支障ないようにすること、隣接ホテルの消防活動上の支障にならないようにすることが主たる条件です。次に、皆さんにご利用いただいている駅舎からの階段の前の広場と交通島のある駅前広場部分は、JR の敷地と市所有の道路とに分かれております。この敷地条件を整理し、都市計画法や建築基準法などの法律に抵触しないものを作る必要があります。</p> <p>既存の JR 駅舎敷地について、容積率に余裕があることが確認できました。</p> <p>新たにシェルターを作るにあたり、JR 敷地が接道要件を満たす必要があります。なお、ホテルについては、裏側の背面道路からの接道としていることを確認できています。同時に既存 JR 駅舎は東口駅前広場側からの接道により建築確認を行っていることが確認できています。</p> <p>ただし、JR 側と打合せ協議の結果、駅舎のメンテナンスの際など、駅前広場側からクレーン車などのメンテナンス車両を駅舎付近まで寄せる必要があるため、これら重機車両の通行スペースを確保する必要があります。</p>

会 議 記 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>J R 駅舎は既存建物として当時の建築基準法の確認を受けたものとなっていますが、既存駅舎の増築という扱いになると、既存部分についても現行の基準に適合させることが求められる（既存遡及）ため、そうならないよう計画を進めているところです。</p> <p>また、レイアウトについては、現在バス等の停車位置の見直しを行っているところです。また現状では、一般車両の停車位置が複数あり、混乱が生じ安全性の問題も課題となっております。</p> <p>今回設定しておりますメインシェルターでは、スペースに余裕を持たせ、バスやタクシー待ちの動線と歩行者の通行動線の交錯が生じないようにしております。また、待ち合わせなどの滞留動線の確保も想定しております。</p> <p>デザインについては様々なご意見があると思いますが、北本市の街づくりのテーマである「緑にかこまれた健康な文化都市」をコンセプトにしております。</p>
座長	<p>・既存駅舎と新シェルターの法規上の問題などがある、という共有事項でした。ほかにご意見はありますか。</p>
加藤委員	<p>・事務局の説明で、シェルターが中山道の方まで、というように聞こえたが。中山道の方まで、と言うと結構長いな、という印象ですが、計画はA案の配布図面のとおりですか。</p>
大島委員	<p>・範囲は、現行案Aの図面のとおりです。バスの停車位置と軌跡、一般車の集約配置と安全性確保、そうしたことを考えて、今の設置範囲を考えています。</p>
座長	<p>・シェルターの延伸は、課題が多く整理が必要ということですね。</p>

会 議 記 録 (4)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
大島委員	<p>《イメージパースを配布》</p> <p>・北本市の顔となるような個性をもったものを作りたいと考えております。</p> <p>北本は駅前に大規模商業施設がなく、個性的とは言えない街です。一方で、世の中の動きは、成長の時代から共生の時代に動いていると思います。駅前の緑や駅周辺にある農地なども北本の緑あふれる自然の一つです。そのような自然や緑をテーマとしたデザインを考えたいと思います。単なる雨避けでなく、そうした個性を表現できるもの考えています。</p> <p>そうしたことを具現化したのが、雲案、樹木案であって、前回ご意見いただいた折衷案で組み合わせたものも検討しています。もちろん予算との兼ね合いもあり、A, B, C案のレイアウト範囲を検討しているところです。現状、雨天時など駅舎階段下でバス待ちの際など、バスが来たタイミングで走っていく、そういう光景が今までも垣間見られており、大屋根の設置によりゆったりとした空間となることから、待合わせにも使ってもらうなど期待しております。</p>
座長	<p>・私は大学に勤めていますので、学生に聞いてみたところ、若い人は雲形の方が良い、という意見が多かったようです。大きなメインシェルターは雲形、前面のサブシェルターは樹木型、という組合せは良いのではないか、という印象です。</p>
中田委員	<p>・雲形にした場合と、樹木型にした場合で、光のとおり方など違いはあるのか。</p>
大島委員	<p>・素材は、白いテント材を検討しています。そこに「ルーバー」を設けてデザイン性を高め、光の入り方を調整するなどを検討しています。</p>

会 議 記 録 (5)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
横田委員	・「ルーバー」とはどんなものなのか。
大島委員	・日除けとして屋根の裏面に並べるものです。屋根の下に日除けをつけ
	るイメージです。(事例写真で説明)
	・まずはメインシェルターを作って、サブシェルターを追加していくと
	いう進め方で、皆さんに見て頂けるように整備したいと思っていま
	す。
座長	・模型を見ても、正面からのイメージは雲形の方が印象的かと感じま
	す。
横田委員	・色はどんな感じなのか。
大島委員	・色はたいへん大切です。何通りも現場において検討する必要があります。
	光の当たり方や時間によって印象が変わります。基本的にはア
	スカラーにしたいと考えております。テントなら白、ガラスなら透
	明、屋根は白ですが、ルーバーはバリエーションがある。一方で、照
	明でも工夫したいと思います。
横田委員	・照明もそうだが、色で見せる、さすが北本の駅前広場、というイメ
	ージを見せることができるのかと。
大島委員	・照明は調光できるので色は変えられます。しかし、あまり派手な色を
	入れると品位が落ちると考えます。基本的にアースカラーが良いと考
	えます。本来ならルーバーは木製が良いが、設置当初は見栄えはよい
	が、経年とともに劣化し見劣りすることが想定されるため、素材とし
	てはアルミなどの金属がよいかと考えております。
座長	・ここまでの話を踏まえ、①レイアウトの配置は、A案。そして、②デ
	ザインはメインシェルターが雲形、サブシェルターが樹木形の折衷案
	で組み合わせたもので進めていくということでしょうか。

